

議事録

審 議 会 等 名	つくばみらい市特別職報酬等審議会
開 催 日	令和元年 1 1 月 6 日（水曜日）
開 催 場 所	つくばみらい市役所 伊奈庁舎 2 階 会議室 1
出 欠 者	出席委員 飯塚委員，秋田委員，中島委員，飯泉委員，丸山委員 青木委員，山野井委員 事 務 局 森総務部長，海老原総務課長，岡野総務課長補佐， 沖田係長
議案	・つくばみらい市議会議員報酬について ・選挙にかかる非常勤特別職の報酬について ・いじめ問題にかかる非常勤特別職の報酬について
議 案 概 要	・開会 午後 2 時～ ・会長あいさつ ・審議 事務局は，審議会に提出した関係資料について，詳細に説明を行った。 【質疑等】 委 員 資料 1 5 の中から，報酬額の一番低い鉾田市，近隣市で高い常総市を除いた場合の平均額はいくらになるか。 事務局 議長で 4 3 2， 0 0 0 円，議員で 3 6 9， 0 0 0 円になり， 2 市を除く前の平均値を上回ります。議長報酬については，当市と鉾田市を除いた自治体は 4 0 万円代となっています。鉾田市が他市に比べ特に安いため，鉾田市を除くことで上昇してしまいます。 委 員 資料 1 4 で職員の給料の説明があったが，職員の場合は，給与体系で生活給，議員の場合はご承知のように報酬となっている。職員と議員を比較することは理解に苦しむ。現在のつくばみらい市は人口が非常に増加し，財政規模も従来に比べ大きくなってきた。そのような中で人口規模や財政規模の同じような類似団体をピックアップし，その平均値を出していくことだと思う。また，財政状態が悪い状態で果たして増額していいのかも考えないといけない。財政状態，経常収支比率はどうなっているのか。

	事務局 今回の財政状況について、監査委員も議会で報告しておりますが、特段に悪い状態ではないです。経常収支比率にしましては、94.2%と若干高めになっています。 委員 発展途上にある市においては、ありがちなこと。どうしても弾力的な財政運営は難しくなってくることは確か。その数値が将来的に同じようになってしまうのか、その見極めだと思う。 委員 昨今、議員のなり手がいない、手をあげる人が少なくなっている。というのが各地域で出はじめている。そういうことはやはり避けたい。それを避ける為にはどうすべきか。法律上は一応議員の副職は認められている。実際、副職と言っても、会社に勤めたり、会社を営んでいるという人よりも、農業や自営業に近いような人が議員になっていると思う。議員職に専属する方が多くなってきた時に、若い人がどうしても踏み切れないというのは、やはり議員報酬だけでは生活ができないというところが大きい訳で、その議員生活も4年に1回ずつ保障してくれるならいいが、4年後は分からない。その安定度を求めたりする時に、より安定度を高めてあげるという中で、少し議員報酬をあげて、もう少し議員の議会活動というものを活性化していく必要がある。それがどこから始まるかというと、立候補するという意識を持たせられるような、魅力のある、ある程度の報酬が必要になってくる。 委員 議員になる間口は限られているのかなと自分は思う。現状では、一般には会社で働いている人、会社をずっと営んでいる人達は、今の制度の基で議員になったら議員活動はできないと思う。本来であれば、誰でも議員として活動できるような活動時間や曜日を別にする形で検討していかないと、なかなか今の状態では報酬ベースを上げて同じと思っている。やはり、市民の方々が手をあげて立候補してくれる環境を作るには、もっと通年での議会開催など、そちらの方で努力していかないといけない。 委員 財政上の問題として、経常収支比率が94.2%と高いことは高い。今後、社会投資が増えたり、財政をもっともっと圧迫するようなことはあるか。
--	---

	事務局 現時点においては、公共投資等についてはほぼ終わったというような状況です。まだこれからやる部分がありますが、そういう部分での公債費のピークは過ぎたと思います。ただ、やはり転入者が多いので扶助費など、そういう部分での支出は増えていくと思われます。これは合併した時もそうでしたが、財政状況は決して豊かではなく、いつの時代でも厳しい、厳しいと言ってやっています。 委 員 若い方が議員になりたいという声は多いか。 事務局 現在の議会議員の構成を見ますと、当市は非常に高齢化しています。次の選挙には、若い方も立候補するというような話も聞いていますが、議員は４年間しか保証されていません。今の仕事を辞めて議員になる場合は、リスクがあり、議員をやってみようとならないのが現状なのかもしれません。 委 員 ４年前に報酬額を改訂して、また今回諮問された訳だが、この４年間で何が変わったのか。例えば、他市が改訂をして、つくばみらい市が益々追いつけなくなったのかとみると、それ以降に改訂した市は、資料１５では２市しかなく、ほとんど変わっていない。変わっていないのになぜと自分で自問自答する。他市に比べ、議長が４０万円を超えていないのは確かに安い。先程、職員と議員は違うとあったが、当然私もそう思う。ただ、そうは言っても、３８歳の市の職員の給料と議員報酬がほぼ同じというのはどうなのか。自分が議員になって何か街を変えてみようとか、そういうことをやってみようと思う若者が市議会議員に手をあげようとした時、年収だけを見るとあまりいなくなってしまう。報酬額の低さがそういう阻害要件になっているのかと思う。そのようなことを考えるとやはり、上げた方がいいという気持ちもある。 委 員 前にも話したように、市民感情と議会の距離感が遠すぎる。市民の方は、生活の中での思いや気持ちを何処かに持って行き、それを解消したいと思っている。市役所の方でも対応していくと思うが、やはり一番身近で地域をよく知っているのは議員であり、そういう市民に門戸を広げて接する機会があれば、もっともっと議員活動に対する理解が深まっていくと思う。ただ、つくばみらい市になり、新しい街になると昔の農村地区のような繋がりには薄れ、その距離感がややもすると遠くなる。合併した
--	--

	ことはそれなりに良いが、合併したデメリットというのは、市民との距離感が遠くなるとも言われている。
委 員	先程出ましたが、議会の開催日時、祝日や夜間での開催を試みることはハードルが高いか。
事務局	高いと思います。議会運営はライブスポーツではありませんが、ライブです。議会の中で何か起きた場合には、暫時休憩を取り、それを調べたり、この議会をどのように運営するか決めなくてははいけません。また、茨城県市議会議長会や全国議長会事務局などに問い合わせをしたりもしますので、それができなくなります。つくばみらい市では、議会定例会の最終日に閉会中の継続調査という申し出を各常任委員会から議長に提出します。通年議会ではありませんが、閉会中でも常任委員会は頻繁に開催しています。
委 員	ただ、そういう形で議会、議員が取り組んでいることが市民レベルには分からない。昔に比べてそういう面では地域に入った形の活動をしている人は、やはり少ないと思う。中にはやっている人もいるが、報告会もほぼない。介して一般的にはやはり、その辺のところの努力が足りないと思っている。
委 員	平成26年度答申の附帯意見に対しては、ある一定の評価はできると思う。しかし、それはまだまだ自己満足の部分が高い、行ったという形式的な話である。先程、話があったように、議会と市民との距離が遠くなってきた。議員から市民に仕掛けていけないといけない時代になってきている。それは何かというと、さっき言ったような報告会でもある。現在、各常任委員会がいろいろなことに取り組み、いろいろな議論をしている。しかし、議論しただけであって、それから先に進んでない。それがどういう形で、今やろうとしているのかという経過も見られない。我々は、こういう場に出ているから見ることは可能だが、市民の方々は見られない。議会だよりも出していない。議員が、議会として市民にボールを投げないといけない。自分たちは今、こういう事に取り組んでいますと、どんどん発信すればいい。自分たちでやってきたことを仲間内で報告会をやってもそれは仲間内の話。税金を使って自分たちが学んできたのなら、それをフィードバックして、市民に返してあげないといけない。返す時にどうやって返すか、そのツールはいろいろなツ

	ルがあると思う。議会だよりを使ってもいい、報告会という会を開催してもいい、インターネットで報告してもいい、いろいろな報告があると思う。そこまでマメにやっていくような努力をしないと、これからはだんだん議員と市民との距離が遠くなる。
委 員	議会報告会の話が出たが、来る人が少ないからやらないではない。開催して1人でも来てくれれば、これはこれとして意義はある。
委 員	我々がお願いしたいのは、とにかく自分たちが活動していることをもう少し発信して、今、何に取り組んでいる、何をどうしようとしている、そういうことを知りたい。市民にとってみれば、議会、関係ないよっていう人が多い。議員がいるからこそ、我々の生活がどういうふうに変化するのか、どう変わっていくのかということを理解してもらおう為には、そういうものどんどん発信していただきたい。
委 員	中には、そうしている議員もいる。自分が活動したことを報告してくれる議員は、本当に一握り。他の議員が、日常どのような活動をしているか、全然見えてこない。内にこもらず外に発信するよう努力して欲しい。
会 長	さまざまなご意見、議論ありがとうございます。今回、諮問に対し、一定の結論を出さないといけません。報酬額については、いかがでしょうか。
委 員	つくばみらい市は、つくばエクスプレス沿線であり全国の市町村やマスコミからも注目を浴びている。これからのつくばみらい市を考えた場合、県南地区の他市レベルくらいの報酬にした方がいい。
委 員	人口規模や財政規模の類似団体を鑑みても、その平均値あたりが許容範囲ではないだろうか。
会 長	では、本日の資料15で示された平均値としてよろしいでしょうか。端数は整理させていただきます。
一 同	了承。
会 長	ありがとうございます。それでは、資料15の平均値を基に答申案をまとめたいと思います。また、前回議論しました、いじめ問題に係る非常勤特別職報酬、選挙にかかる非常勤特別職報酬も含めていきます。教育委員会については、第三者委員会が活用されないような努力をし、風通しのいい教育現場にしていきたい。選挙関係については、委員から意見がありました手当の不合理にな

	っている部分について，改善できるよう関係機関に働きをかけて欲しいとの意見を明記していきます。 委 員 政務活動費についても，活用してほしい旨明記していただきたい。 会 長 それでは，本日の議論を盛り込んだ答申案を委員の皆さんに送付します。皆さんは，案に対して確認，修正の指示をし，返却してください。返却されたものを再度調整し，完成させたいと思います。よろしくお願いします。 閉会 午後 3 時 5 0 分
そ の 他	傍聴人 0 人